

第4回 熊野川懇談会検討会 議事骨子（案）

| | |
|------|--------------------------|
| 開催日時 | 平成19年1月17日（水）13:00～16:00 |
| 開催場所 | 和歌山東急イン 橋 |
| 出席者 | 委員14人、河川管理者等7人 |

第4回検討会が開催され、「(仮称)流域のまとめ」の構成内容等について審議が行われた。検討会の議事骨子は以下のものである。

1. 目次構成（案）について

- ・目次構成(案)が提示され概ね了承された。

2. 構成内容について

- ・構成内容について審議され、流域の課題について以下の意見が述べられた。
 - 治水の現状と課題
 - ・課題項目として治水施設（堤防・水門等）を追加してはどうか。
 - 利用・利水の現状と課題
 - ・項目として農業水利を追加してはどうか。
 - 自然環境の現状と課題
 - ・現状には「森林」を入れてはどうか。
 - ・流砂、河床形状に加え、「河口砂州」を追加するのがよいのでは。
 - ・林地の保全は多くの項目に関連しているので、流域保全として一つの項目にまとめてはどうか。
 - 社会環境の現状と課題
 - ・現状についても、資料のとおり課題と同じ項目（地域振興、歴史文化、景観）としたほうが良い。
 - ・コミュニティとしての河川利用と、河川に関するイベントを追加してはどうか。
 - ・人口動態、産業動態、世界遺産の対象と位置については、「熊野川流域の概要」に入るのではないか。
 - ・社会環境に世界遺産（文化的景観）を項目として追加してはどうか。
 - ・国交省がどこまで対応できるかは別にして、地域振興に農林業の活性化や観光振興を入れてはどうか。
 - ・自然環境の景観と社会環境の景観の違いが不明確である。
 - 整備計画の策定に向けて について
 - ・流域のあり方を示す総論が必要ではないか。
 - ・河川整備基本方針の考え方との関係も加筆する必要がある。基本方針の策定スケジュールはどのようなものか。⇒次年度の夏頃には提示できると考えている。

3. 懇談会のコンセプト（テーマ）について

- ・各委員は、熊野川が目指すべき川づくりの内容（テーマ）を短くまとめたキャッチフレーズ案を作成し、運営会議までに庶務へ送付する。

4. 今後の進め方について

- ・分野ごとに担当委員が流域の課題項目と関連キーワードをまとめ、運営会議までに庶務へ送付する。担当委員は以下のとおりである。

| | |
|-------------|------------------|
| 治水の現状と課題 | 【担当委員 椎葉委員】 |
| 利用・利水の現状と課題 | 【担当委員 木本委員】 |
| 自然環境の現状と課題 | 【担当委員 瀧野委員】 |
| 社会環境の現状と課題 | 【担当委員 橋本委員、山本委員】 |
- ・次回懇談会では、委員からの情報提供と「流域のまとめ」の構成について等の審議を行う。
- ・「流域のまとめ」は表題として問題があるので方向性がわかるような名称を考える。

5. その他

- ・河川管理者からの情報提供に関して以下に示す質疑応答が行われた。
 - ・水利権量が若干減少している理由を教えて欲しい。
⇒新宮市からの提示により減量。河川管理者からではない。(河川管理者)
 - ・公水の金銭売買は禁じられているが、可能なのか。
 - ・維持流量0.95トンの設定根拠や、水資源の実力として増やせるかどうか教えて欲しい。
⇒次回会議にて説明する。(河川管理者)